



# TSUNAGU

- 小から中への滑らかな接続において -

令和7年12月4日

我孫子市小中一貫教育だより  
第394号

我孫子市教育委員会 小中一貫教育推進室



我孫子市マスコットキャラクター  
「手賀沼のうなぎちゃん」

## 我孫子市が小中一貫教育で目指す子ども像

- 「ふるさと我孫子」を愛し、誇りに思う子ども
- 確かな学力を身につけ、夢を持ちチャレンジする子ども
- 自分に自信を持ち、自他を大切にする子ども



布佐地区キャラクター  
「ふさだ だしお」

## 小中一貫オリジナルカリキュラム授業実践の様子を紹介するうな～！

### 一小・3年生「伝えよう一小的たからもの」

第一小学校3年生総合的な学習の時間で Abi-ふるさと・キャリアに位置付けた授業を実施しました。3年生の子ども達が、自分達で考えた「一小的宝物」を1年生に紹介するトレジャーツアーを行いながら思考力や表現力を育成したり1年生への思いやりの心を育む取り組みで、中学校区で目指す生徒像である「共に支え合い、たくましく生きようとする 15 歳」に向けての第一歩を踏み出す授業であると思います。

最初に全体が一堂に会し、子ども達の進行で目的や注意事項が確認・共有されました。子ども達はスタートが待ち遠しいようなワクワクした表情でしっかりと聞いていました。合図があり、両クラスともに一班ずつリーダーを先頭にまとまって出発します。1組の子ども達はトレジャー説明用の資料、2組の子ども達はメモやアドバイスを記載するためのシートを手にしています。

事前に子ども達が発見した宝物を1時間に10カ所、校内を巡りながら1組の児童が説明します。校舎を繋ぐ通路の一小美術館やウーパールーパー、体育館の校章、理科室にあるバードカービングの模型、校庭にある大きなユーカリの木や坂途中のニコニコファーム(花壇)など、子ども目線で発見した一小的宝物を資料を使い、クイズを交えながらしっかりとプレゼンしていました。それを聴いている2組の児童も「声をもっと大きく」「聴いている人を見て」など厳しい目で評価してシートに記入しています。リーダーの考えて1年生の昇降口に行き、1年生の動きを想定しながら自分達の動きを確認している班もあり感心しました。

残念ながら時間が足りずに、最後に予定されていた2組から1組へのアドバイスの発表と本番に向けた改善点の確認は持ち越しとなってしまいましたが、子ども達が楽しく、かつ本番に向けて主体的に学びを深めることができる総合的な学習の時間であったと感じています。



### 布佐南小・1年生「幼保小交流会を成功させよう」

布佐南小学校1年生が布佐中区オリジナルカリキュラムの一環で、地域の保育園と幼稚園の年長児を迎えて交流会を開きました。澄んだ秋空のなか、園児たちが南小学校に到着すると、1年生の児童たちは嬉しそうに出迎えました。

始めの会では、係に当たっている児童が歓迎のあいさつをし、交流会の説明をしました。姿勢を正して真剣に話を聞く園児たちを前に、1年生は始まるのを心待ちにしている様子です。開始の合図で、園児はエスコート役の1年生と一緒に8個のブースを回りました。

「おちばトランプ」「にんぎょうあそび」「がっきやさん」に列ができると、「こっちはすぐできるよ～。」「けんだまあいてるよ。」と他のお店から呼びかける声がちらほら聞こえてきました。お客さんが満足してくれるように自分たちで考えて声をかけあっていました。園児たちも、お兄さんお姉さんと一緒に回れる安心感と楽しさを味わっていました。

どのブースも秋を感じる児童の意見が反映されたオリジナルのもので、この交流会の為に目的意識をもって主体的に事前準備を進めたのだと思いました。1時間の交流会の中でも、始まる前と終わった後で児童の表情から成長を感じました。布佐地区で見つけた秋を活用して園児の皆に楽しんでもらい、来年の入学の架け橋となった幼保小連携を兼ねたカリキュラムでした。

